

かい ぎ ろく
会 議 録

かいぎ めいしやう 会議の名称	へいせい ねんど だい かいこまきしたぶん かきやうせいきやうぎかい 平成25年度 第1回小牧市多文化共生協議会について				
かいさいにちじ 開催日時	へいせい ねん がつ にち きん 平成25年 1月 24日 (金)				
かいさいばしよ 開催場所	301 かいぎしつ 301会議室				
しゆつせきしや およ 出席者 及 けつせきしや び欠席者	しゆつせきしや ○出席者 【委員】 こじまいいん つばいいいん さいれんじいいん みやたいいん つばやいいん 小島委員、坪井委員、西連寺委員、宮田委員、坪谷委員、 ひがいいん おおしまいいん かきはらいいん いもといいん あおやまいいん 比嘉委員、大島委員、柿原委員、井本委員、青山委員、 たかはしいいん こまきしこくさいこうりゆうきやうかい かんべいいん しみんさんぎやうぶじちやう 高橋委員(小牧市国際交流協会)、神戸委員(市民産業部次長) じむきよく 【事務局】 いりえせいかつこうりゆうかちやう みずのこうりゆうかかりちやう がんどうしゆさ 入江生活交流課長、水野交流係長、丸藤主査 けつせきしや ○欠席者 もはめど まはるーふいいん すずきいいん モハメド マハルーフ委員、鈴木委員				
ほうちやう かひ 傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 否	ほうちやうていいん 傍聴定員	10	ほうちやうにんずう 傍聴人数	1
かいぎしだい 会議次第	1 かいかい 開会 2 あいさつ あいさつ 3 ないやう 内容 (1) たぶんかきやうせいきやうぎかいいん やくわり 多文化共生協議会委員の役割について (2) こまきしたぶんかきやうせいしん がいようせつめい しんちやくじやうきやう 小牧市多文化共生推進プランの概要説明と進捗状況 について (3) たぶんかきやうせい 多文化共生について 4 た その他				
といあわ さき 問合せ先	こまきし やくしよ しみんさんぎやうぶ せいかつこうりゆうか こうりゆうがかり 小牧市役所 市民産業部 生活交流課 交流係 たんとう みずの 担当：水野				
かいぎないやう 会議内容	べっし さんしやう 別紙1参照				

ぜんぶきろく 全部記録 ようてんきろく 要点記録

かい 会	ぎ 議	ない 内	よう 容
<p>1. ^{かいかい}開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ^{しみけんしやうしやうわ}市民憲章唱和 <p>2. ^{あいさつ}あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ^{せいかつこうりゆうかちやう}生活交流課長よりあいさつ ・ ^{いいんいしよく}委員委嘱 <p>3. ^{ないよう}内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ^{いいんちやう ふくいいいんちやう せんにん}委員長、副委員長の選任 <ul style="list-style-type: none"> → ^{いいん すいせん こじまいいん いいんちやう せんにん}委員の推薦により、小島委員を委員長に選任。 → ^{いいんちやう すいせん おおしまいいん ふくいいいんちやう せんにん}委員長の推薦により、大島委員を副委員長に選任。 ・ ^{かいぎ こうかい}会議の公開について <ul style="list-style-type: none"> → ^{こうかい かいぎ りやうしやう}公開の会議として了承。 <p>(1) ^{たぶん かきやうせいきやうぎかい いいん やくわり}多文化共生協議会委員の役割について</p> <p>(委員長) ^{いいんちやう じむきよく せつめい ねが}事務局より説明をお願いしたい。</p> <p>(事務局) ^{じむきよく たぶん かきやうせいきやうぎかい いち あんぜんあんしん たぶん か}多文化共生協議会の位置づけは、「安全安心で、よりよい多文化 ^{きやうせいしやかい じつげん めざ しみん きぎやう ちいき ぎやうせい きやうぎ}共生社会の実現を目指し、市民、企業、地域及び行政が協議するための ^{きかん きやうぎかい たぶん かきやうせい かん じこう ちやうさ}機関」とされている。協議会は、「多文化共生に関する事項について調査 ^{しんぎ ひつやう oush ouchou icken no}審議し、必要に応じて市長に意見を述べることもできる。」とされており、 ^{こまきし たぶん かきやうせい たいへんじゆうやう きやうぎかい}小牧市の多文化共生にとって大変重要な協議会であることがわかると ^{おも いいん みな ひびせいかつ なか おも かん}思う。委員の皆さんには、日々生活の中で思ったこと・感じたことをこ ^{きやうぎかい はつげん おも}の協議会で発言していただきたいと思う。</p> <p>(委員長) ^{いいんちやう なに しつもん icken}何か質問や意見はあるか。</p> <p>→ ^{とく}特になし。</p> <p>(2) ^{こまきしたぶん かきやうせいすいしんぶらん がいようせつめい しんちやくじやうきやう}小牧市多文化共生推進プランの概要説明と進捗状況について</p> <p>(委員長) ^{いいんちやう こまきしたぶん かきやうせいすいしんぶらん ねん がつ かんせい}小牧市多文化共生推進プランは、2011年3月に完成した。その ^{とき めんばー し たんとうしや ぎろん つく ぶらん こ}時のメンバーや市の担当で議論して作った。「1. プランに込めた ^{きほんてき かんが かつ か おも つく}基本的な考え方」に書いてあるが、どんな思いで作ったかというのと、「み</p>			

んな「こまき市民」、助けあって笑顔で暮らせるまち”にしたい。

私たちにどんなことができるのか。2つのことを最初に考えた。

私たち「こまき市民」は、お互いに、

1. 自ら進んで地域社会へ参加します。
2. 差別することなく人権を尊重します。

この思いを実行するために私たちに何ができるのだろう。と話し合った。

“みんな「こまき市民」、助けあって笑顔で暮らせるまち”にするために5つのことを実行していこうと決め、このプランの内容になった。

それでは、事務局より小牧市多文化共生推進プランの概要説明と進捗状況について説明をお願いします。

(事務局)プランは、2011年に作成し、今年度は5ヵ年計画の3年目になる。5つのめざすことが設定されているが、実行するのは、市民・企業・行政としている。プランの構成として、5つのめざすことがあり、実行する人は、自治会・K I A・企業などがあり、それぞれの立場で具体的に挑戦することがある。もちろん挑戦することが達成できればよいが、「挑戦すること」が第1の目標ではなく、それぞれの取り組みを通じて日本人市民と外国人市民が仲良くなるきっかけになってくれたらいいと考えている。「挑戦すること」は、お互いに仲良くなるツールとも言える。

小牧市多文化共生推進プランの進捗状況について説明。

小牧市多文化共生推進プランの進捗状況を確認するため、外国語版生活情報誌配布先の20区の自治会、小牧市国際交流協会、国際化問題連絡協議会参加事業者20社と外国語版生活情報誌配布先の企業15社の合計35社の企業、商工会議所、関係各課16課などの実行する人に対し、プランの進捗状況照会した。

照会結果としては、

- 1 1つ目のめざすこと①の「一人ひとりの防災対策が100点のまちにします。」については、36項目中13項目、
- 2 2つ目のめざすこと②の「自治会の活動への参加を増やします。」について30項目中10項目、

3つ目のめざすこと③「正しいごみの出し方を知り、ごみの減量を目指します。」については、25項目中13項目、
4つ目のめざすこと④の「子どもたちの「多文化共生」を応援します。」については、30項目中12項目、
5つ目のめざすこと⑤の「国籍・民族・文化・言葉などの「ちがい」を学びます。」については、38項目中、17項目が実行できた。
全項目159項目中65項目が実行できた。

(委員長)何か質問や意見はあるか。

(委員A)自治会は、区単位か。

(事務局)外国人の多く住む区で、外国語版生活情報誌配布先の20区を対象に調査した。

(委員A)20区のうち10区でできましたと解釈すればよいか。

(事務局)そのとおり。

(委員長)その他、何か質問や意見はあるか。

(委員B)K I Aでは、毎年10月に公共マナー教室で消防署に行って、防災訓練をやっているのでチェックをした。

まだ「地域や関係機関、市が行う防災訓練を外国人市民も理解できるように、通訳や企画・運営などをサポートします。」は、なかなか難しいので、できていない。K I Aだけでは、できないので、市役所と協働でやっていければと思っている。

(委員長)生活交流課はどうか。

(事務局)外国語版生活情報誌に定期的に防災情報を掲載して、情報発信をしている。

(3) 多文化共生について

(委員長)小牧市多文化共生推進プランの中にあるめざすこと①の1つである「地域や関係機関、市が行う防災訓練を外国人市民も理解できるように、通訳や企画・運営などをサポートします。」を進めるために、みなさんが「自分達が防災訓練に協力できること」は何だ。

→各委員から

- ・ 外国人市民が住んでいる地域で防災訓練をやるには日頃からのコミュニケーションが大事であり、参加しやすいように内容を判りやすくチラシにイラストやふりがなを付れたりして工夫する必要がある。
- ・ 防災訓練の必要性を外国人市民にPRしていくとよいのではないか。
(防災訓練の参加の魅力がない。訓練をやらない国もある)
- ・ 若い外国人市民が防災訓練を企画した場合は、サポート体制が必要ではないか。
- ・ 会社と派遣会社で勤務中に防災訓練を行うとよいのではないか。
- ・ 災害が起きる前に通訳リストを作成しておけば、災害時にも役立つのではないか。
- ・ 言語の種類が多くなり、それぞれの言語発信は難しいので、やさしい日本語を使った方がよいのではないか。

(委員長) 外国語版生活情報誌に載せると良い情報は何か。意見を聞いた。

→各委員から

- ・ 地震が起きる前から準備できることを載せると良い。例えば、転倒防止グッズの紹介や買える場所（ホームセンターなど）の紹介をローマ字や絵を付けて載せる。
- ・ 伝言ダイヤルの使い方の紹介してはどうか。
- ・ 防災倉庫の中に何が入っているか紹介してはどうか。

4. その他